

令和 6 年度

事業者番号 0612 事業所番号 035102

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあつては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
C	

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	埼玉県立循環器・呼吸器病センター		
事業所所在地	市区町村	熊谷市	
	字・地番	板井1696番地	
産業分類名（中分類）	83 医療業		
分類番号（中分類）	83		
事業活動の概要	事業内容	事業内容・循環器呼吸器病治療専門医療 病床数 343床	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計画期間		2	年度	～	6	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を20%とする(必要に応じて排出量取引を活用する)				
	その他ガス	なし				
エネルギー起源CO ₂ の削減目標の概要	排出可能上限量(計画期間合計)	34,248	t-CO ₂			
	削減目標量(計画期間合計)	8,562	t-CO ₂	事業所区分	第1区分ー(1)	

(2) 第4計画期間の削減目標

計画期間		7	年度	～	11	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)					
	その他ガス					

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	3,165	3,142	3,125	3,164	

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算（t-CO₂）

		計 画 期 間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂		6,517	6,472	6,438	6,478	
	前 年 度 比（％）	—	-0.7	-0.5	0.6	
そ の 他 ガ ス	非 エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂					
	メ タ ン					
	一 酸 化 二 窒 素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六 ふ っ 化 い お う					
	三 ふ っ 化 窒 素					
温 室 効 果 ガ ス の 合 計		6,517	6,472	6,438	6,478	

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）CO₂換算（t-CO₂/指標）

		計 画 期 間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位		0.1533	0.1522	0.1514	0.1523	
	前 年 度 比（％）	—	-0.7	-0.5	0.6	
活 動 規 模 の 指 標	単 位					
床面積	m ²	42,523.01	42,523.01	42,523.01	42,523.01	

（４）エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	令和2年度は感染症の流行により来院者が減り、厨房などで使うプロパンガスの使用量は減少した。平成31年度が夏季の気温上昇が例年に比べ緩やかであったのに対し令和2年度は例年並であったため、都市ガスの空調使用量は前年より増加する結果となった。トータルでは排出量は増加した。					
令和3年度 (2021年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	令和3年度は感染症の流行により来院者が減り、厨房などで使うプロパンガスの使用量は減少した。令和2年度が夏季の気温上昇が例年並みだったのに対し令和3年度は例年に比べ緩やかであったため、電気の空調使用量は前年より減少する結果となった。トータルでは排出量は昨年度よりもやや少なかった。					
令和4年度 (2022年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	令和4年度は例年より冬期及び中間期の気温変化が緩やかであったため、電気の空調使用量は前年より減少する結果となった。トータルでは排出量は昨年度よりもやや少なかった。					
令和5年度 (2023年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	令和5年度は感染症による面会制限が緩和され、来院者が増加し厨房で使用するプロパンガス使用量が増加した。また、令和5年度の冬期は救急の受入れ増や、病床の利用率増など、病院としての稼働が増加したため、全体としてエネルギーの使用量が増加した。					
令和6年度 (2024年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量	8,562	t-CO ₂ /年
基準排出量の検証	実施済	

(2) 基準排出量の変更

	変更年度	変更量 (t-CO ₂ /年)
1		
2		
3		
4		
5		

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第1区分- (1)
----------	-----------

(4) 削減計画期間

2	年度から	6	年度まで
---	------	---	------

(5) 年度ごとの状況

(排出量等の単位：t-CO₂)

		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	削減期間 合計
基準 排出 量 等	基準排出量(A)	8,562	8,562	8,562	8,562	8,562	42,810
	目標削減率の 緩和措置	医療施設	医療施設	医療施設	医療施設	医療施設	
	トップレベル認定						
	目標削減率(B)	20.00%	20.00%	20.00%	20.00%	20.00%	
	排出上限量 (C = Σ A-D)						34,248
	排出削減目標量 (D = Σ (A × B))						8,562
実 績	エネルギー起源 CO ₂ 排出量(E)	6,517	6,472	6,438	6,478		25,905
	削減率 (F = (A - E) / A)	23.88%	24.41%	24.81%	24.34%		—
	排出削減量 (G = A - E)	2,045	2,090	2,124	2,084		8,343
各年度の排出量の検証		実施済	実施済	実施済	未実施		

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区 番	分 号	区 分 名 称				
			大 区 分 中 区 分				
1	170200		負荷平準化 17_コージェネレーション	コージェネレーションシステム導入による発電機の高効率運転	R1以前	R1以前	
2	150200		受変電設備、照明設備、電気設備 15_照明設備の運用管理	照明設備のLED化	R2	R2	
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

